

グローバル化という実態のない言葉に振り回されてはいけないのです。我が国の農業を守るという事は我々が子孫に命を継いでゆくためにも絶対に必要な事なのです。効率至上主義からは心豊かな社会の実現は期待出来ませ

前原市の基幹産業は農業!!

「前原市農力を育む基本条例」が四月一日より施行になりました。

その条文には、「市民全体で農力を育み、安全で安心できる食料の生産、流通及び消費が図れ、もって持続的に発展する農業の確立と、都市と農村とが調和した豊かで住みよい地域社会の実現に寄与することを目的とする」とあります。又その基本的な施策に地産地消の推進、食育の推進そして女性農業者が持つ力の発揮に必要な施策を講じると明記しています。

食料の安全確保自体が疑問視され、詰め込み教育偏重のマイナス面が昨今の社会問題発生の一因と考えられるならば、今回前原市が制定したこの条例は時代を的確にとらえた素晴らしいものだと確信します。



食と農と環境 を市民みんなで支え合う社会が今まさに必要ではないでしょうか。

具体的な基本計画が今年度中にまとまる予定です。

元気な前原、誇れる前原作りのため、みなさんと共に頑張つてゆきたいと強く心に念じています。

あとがき

心配された水不足は何とか解消されそうですが、今年はラニーニャ現象で厳しい暑さが予想されています。

行政は合併問題、財政健全化と待ったなしです。

皆様の声を一つでも多く議会の場に反映させ、より良いまちづくりに役立ちたいと思っています。

どこへでも伺います。
ご意見を是非お聞かせ下さい。

元気な前原・住みたい前原にするために、皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

小島忠義事務所

〒819-1112 福岡県前原市浦志二丁目5-20

TEL(092)322-0155
FAX(092)322-4900

E-mail: kojima-tadayoshi@iwa.bbq.jp

小島忠義の議会通信 〳かけ橋〳 Vol.3



水田一面に植えられた稲も順調に生育し、緑で被われた田んぼを眺めると心安らぐのは農耕民族のDNAを持つからでしょうか。

六月の定例議会も六月一日より六月十四日までの日程で行われました。執行部より提出された二十議案の審議及び請願審査、

そして十人の議員による一般質問がありました。もちろん私も質問に立たせてもらいました。詳細については広報まえばるの八月十五日号に掲載予定ですのでご覧になつて下さい。

糸島1市2町が合併したら どう変わる?!

1市2町の現状は、

1、国の三位一体改革により大幅な地方交付税の削減が実施され、3市町とも財政は苦しい状況におかれ、厳しい財政運営を強いられています。

2、同一の生活圏、経済圏の糸島において、三つの自治体運営がなされ、糸島の持つ魅力が十分に発揮されているとは言えません。

合併に向けての動き

志摩町は今年中に、二丈町は来年中にそれぞれ住民投票を実施し、合併に関する民意を問う予定です。

前原市においては、二年前の市長選挙そして昨年十一月の市議会議員選挙において当選した市長を始め、合併推進を公約に掲げた多数の議員が当選した事を受け、合併賛成が民意と判断し住民投票は行いません。

ちなみに住民投票に要する費用は一、三〇〇万円以上かかります。

先般の三首長による会談にて、平成二十二年一月一日の合併を目指すこととで合意し、1市2町による合併調整会議が設置されました。

合併による効果

1、社会基盤面において広域的視点に立った道路や公共施設の整備がより効果的に実施可能となります。

